

II 実証事業報告

(1) 地域スポーツクラブ活動体制整備実証事業報告（自治体・クラブ）

前橋市	15
伊勢崎市	18
沼田市	25
館林市	31
渋川市	32
榛東村	37
吉岡町	39
玉村町	41

(2) 県実証事業報告

プロスポーツ団体「MINAKAMI TOWN. EXE」	45
県外視察・研修会	46
ぐんま中高生のための部活動改革ワークショップ	48
伊香保シンポジウム	50
群馬県部活動改革セミナー	52

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
実施報告書

市町村名【 前橋市 】
 担当部局【 前橋市教育委員会学校教育課 】

1. 事業全体について

実施した事業内容及び事業の概要	(1) 地域スポーツクラブ体制整備 「2. 地域スポーツクラブ活動の体制整備について」参照
主な成果	(1) はなまヤングクラブ（明桜中学校）の活動について ■ 休日の部活動の地域連携・地域移行の段階的な実施に向けた実践研究事例となった。 ■ 教員の負担軽減につながった。 ■ 地域と連携・協働した活動になった。 ■ 生徒の休日の運動機会確保や技能の向上につながった。 ■ 長年、外部指導者として携わっていたいたいた指導者なので、学校や部活動、生徒への理解、保護者や生徒との信頼関係がある。スムーズに地域部活動として依頼できた。 ■ 休日のクラブでの活動を通して、生徒が様々な人と関わるようになった。 (2) まえばしスポーツクラブ（まちづくり公社）の活動について ■ 多様な学びの受け皿として機能し、多くの生徒が参加できた。 ■ まちづくり公社を介して、各種スポーツ団体や連盟、協会と連携したスポーツ推進事業が開催できた。 ■ 生徒（保護者）の金銭的負担を軽減できた。 ■ 学校部活動にはないスポーツについても、活動の場を提供できた。 ■ 生徒の休日の運動機会確保や技能の向上につながった。
主な課題	■ 今後の費用負担の在り方 ■ 保護者・生徒の理解 ■ 兼職兼業の在り方 ■ 活動場所までの移動手段の在り方
事業を実施していく上でのポイント	■ 持続可能な活動とするためには、クラブ内での指導者の育成や引継ぎが大切である。また、勝利至上主義にならないように複数の指導者で指導できる体制や、部活動運営や指導等に関する研修が必要である。 ■ 生徒目線を大切に、生徒の活動の様子やニーズを把握しながら、柔軟な対応をしていく必要がある。

令和7年度以降の方向性	■ 令和8年度未までに、休日の「学校部活動」をおおむね「地域クラブ」へ移行する。 ・中学生の受け皿となる地域クラブ団体の立ち上げをサポートする。 ・4月以降も前橋市として、部活動を実施しない休日を設定（4～8月は、第2土日、9～3月は第2・第4土日に実施）。 ・同時に「中学生・多様な学びの日」を継続し、中学生の多様な活動の場を提供する。 ・地域移行に関するホームページを立ち上げ、生徒や保護者、地域住民への情報発信を継続していく。
-------------	--

2. 地域スポーツクラブ活動の体制整備について

運営団体・実施主体及び活動の概要	① はなまヤングクラブ（明桜中学校） 実施：休日 9:00～12:00、平日放課後 2 時間以内 対象：明桜中学校 内容：バレーボール ② まえばしスポーツクラブ（前橋市まちづくり公社） 中学生を対象とした「スポーツ推進事業（10種目）」
対象参加者	① 前橋市立明桜中学校バレーボール部 ② 市内中学生（一部は小学生も対象）
運営団体・実施主体との連携及び体制整備の概要	① 令和5年度から実施している実証事業を継続した。明桜中学校とはなまヤングクラブが情報をしっかりと共有しながら実施できるよう市教育委員会をサポートした。令和8年度には、平日も含めた地域クラブ活動となることを目指す。 ② 各種スポーツ団体や連盟、協会と連携し、運動部活動の種目に限らず、10種目のスポーツ教室を開校。 ■ 部活動地域移行リソース「子どもたちのための大改革」の配信 ■ 各中学校への地域クラブ教調査（7月末）の実施 ■ 「まえばしスポーツクラブ」設立【公益財団法人前橋市まちづくり公社】 主な内容は、①地域クラブの団体登録、②指導者バンク登録、③指導者派遣事業 ■ 地域クラブの学校施設利用に向けた体制整備 ■ 「地域クラブ立ち上げの手順書・申請書類（規約含む）等準備、周知 ・「中学生・多様な学びの日」の実施 ・部活動を行わない休休日の設定（10月から第2土日、1月から第2・4土日）を行い、多様なイベント開催団体の募集、WEB ページの開設及びイベント掲載を実施
運営団体・実施主体、指導者、学校等への支援	■ 受け皿となる団体や指導者の確保、活動場所の整備 ■ 情報発信 ・部活動地域移行リソース「子どもたちのための大改革」の配信 ・「中学生・多様な学びの日」、「部活動地域移行」ホームページ作成 ■ 休日の昼間に学校体育施設を利用するための体制整備 ■ 校舎内の一般利用に向けた警備システム導入の検討 ・賠償責任保険について保険会社と相談 ・「貸館システム」導入に向けて検討 ■ 希望する教職員が指導できるよう「兼業兼職」の体制を整備 ■ 指導者及び地域クラブを対象とした研修会の開催
地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント	■ 受け皿となる団体や指導者の確保、活動場所の整備 ■ 情報発信 ・部活動地域移行リソース「子どもたちのための大改革」の配信 ・「中学生・多様な学びの日」、「部活動地域移行」ホームページ作成 ■ 休日の昼間に学校体育施設を利用するための体制整備 ■ 校舎内の一般利用に向けた警備システム導入の検討 ・賠償責任保険について保険会社と相談 ・「貸館システム」導入に向けて検討 ■ 希望する教職員が指導できるよう「兼業兼職」の体制を整備 ■ 指導者及び地域クラブを対象とした研修会の開催

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
 実施報告書

地域スポーツクラブ【 はなまるヤング 】

運営団体・実施主体・指導者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ はなまるヤング ■ 指導者9名 (地域指導者7名、教員1名、大学生1名) ※この中から一回につき1〜3名が指導に当たっている。
対象参加者	明桜中7名
活動の概要及び活動の様子	<実施日・時間> ■ ヤングの部 実施場所…明桜中学校 平日は放課後1〜2時間程度 土日の場合は、1回3時間程度 他、大会に参加する場合があります。 <会費> ■ ヤング 月1,000円 <保険> ■ 全員加入…ススポーツ安全保険
活動の様子	<活動の様子> 

	 <ul style="list-style-type: none"> ■ 群銀大会参加、県外チームと対戦、高校生と練習試合
市町村担当部署や学校、地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧問と打ち合わせを多くし、結果を報告している
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他校の生徒と仲良くなり、友情が広がる
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 部活優先なので大会時メンバー不足になる。
地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ クラブと部活が両立なので連絡や調整が大変な時がある。 ■ 市から補助が増えるとうよい。
令和7年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 早い段階で、部活動の地域移行を実現してほしい。

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
実施報告書

地域スポーツクラブ【まえばしスポーツクラブ】

<p>運営団体・実施主体・指導者の概要</p>	<p>■公益財団法人前橋市まちづくり公社 指導者：各競技団体等に委嘱 (サッカー：前橋市サッカー協会4名、バスケットボール：前橋市バスケットボール協会4名、陸上競技：前橋市陸上競技協会10名、スケートボード：前橋スケートボード協会3名、スポーツライミング：群馬県山岳・スポーツライミング連盟3名、トランポリン：前橋市トランポリン協会、水球：群馬ジュニア水球3名、テニス：前橋市テニス協会2名、柔道：群馬県柔道連盟前橋支部、群馬大学柔道部5名)</p>
<p>対象参加者</p>	<p>■前橋市内中学校 ※小学生6年生も受け入れている</p>
<p>活動の概要及び活動の様子</p>	<p><種目・実施日・時間> ■サッカー 毎月1回(10月～3月) 土曜日 9時30分から11時30分 岡南サッカークラブ ■バスケットボール 毎月1回(5月～3月) 土曜日 9時30分から11時30分 しんしん大渡体育館 ■陸上競技 毎月1～2回(4月～3月) 土曜日 13時00分から15時00分 Fuji Language School 王山運動場 ■スケートボード 毎月1回(4月～3月) 土曜日 8時00分から10時00分 前橋公園 スケートボード広場 ■スポーツライミング 毎月1回(4月～3月) 金曜日 18時30分から20時00分 ヤマト市民体育館前橋 ■トランポリン 毎月1回(4月～3月) 金曜日 18時00分から20時00分 水球 毎月1回(5月・6月) 土曜日 8時00分から9時30分 しんしん大渡温水プール・トレニングセンター ■テニス 毎月1回土曜日 9時00分から11時00分 ミナミグリーンテニスクラブ ■柔道 毎月1回(10月～3月) 土曜日 8時00分から10時00分 ヤマト市民体育館前橋 ■バドミントン 毎月1回(1月～3月) 土曜日 9時30分から11時30分 <会費> ■1回100円</p>

<p><保険> ■団体総合補償制度費用保険及び賠償責任保険に加入 【サッカー】 【スケートボード】 【柔道】 【テニス】 【スポーツライミング】</p>	
<p>市町村担当部署や学校、地域等との連携</p>	<p>■前橋市が第2土日の部活動を休止し、多様な学びの日としている中、第2土曜日を中心に各種スポーツ教室を開催し、興味を持って生徒が参加できるように取り組みをおこなった。 ■前橋市教育委員会からチラシを市内の小・中学生に向け配付できる「する」にて配信し、事業の周知・参加者募集を行った。 ■市内の各競技団体や大学・既存のクラブと連携し、指導者を確保した。</p>
<p>主な成果</p>	<p>■部活動種目5種目、部活動にない種目5種目の計10種目の教室を開催し、休日に生徒が興味をもったスポーツ活動に参加できる機会を創出した。 ■参加者にとっては、部活動種目をより技能を高めるために専門的指導を受ける場、新しい種目に挑戦する場、文化部に所属する生徒が運動する場等様々な目的で参加をし、ニーズに応じたスポーツ活動に参加できた。 ■競技団体だけでなく、大学や既存の地域クラブと連携して指導者の確保ができた。 ■各教室の参加者が安定せず、参加人数が少数になってしまいうもあったため、学校と連携して教室の周知や適切な定員設定・情報発信をし、参加者の安定化を図りたい。 ■参加者や保護者から開催頻度を高めてほしいという声が多いため、来年度は頻度の強化を行う。</p>
<p>主な課題</p>	<p>■指導者の確保 指導者は各競技団体と連携し確保しているが、種目によっては指導者不足のため、大学や既存のクラブと連携することで指導者を確保している。 ■場所の確保 運営団体の管理施設を中心に教室を開催しているが、テニス、サッカー、トランポリンについては民間の施設を利用することで、定期的な教室開催が可能となった。</p>
<p>地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント</p>	<p>■今年度10種目を開催したが、来年度は部活動種目を中心にさらに種目数を拡大したい。 ■今年度は各種目月1回の開催のため、可能な種目から開催頻度を高められるよう、会場・指導者の確保を進める。</p>

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
 実施報告書

市町村名【伊勢崎市】
 担当部局【伊勢崎市教育委員会学校教育課】

1. 事業全体について

実施した事業内容及び事業の概要	(1) 各中学校校長からのヒアリング <概要> 夏季休業中に中等教育学校を含めた全中学校長と実施地域性や学校の状況を踏まえた、合同部活動、拠点校部活動の実施、及び地域クラブへの移行の在り方について意見交換体制整備事業活用上の留意点等について説明 (2) 伊勢崎市部活動地域移行検討委員会の開催 <概要> 年2回(10月、1月) 委員：大学講師、スポーツ協会代表、総合型スポーツクラブ代表、スポーツクラブ代表、PTA代表、中学校長会長、中学校体育連盟会長・理事長、モデル地区中学校校長代表 内容：報告 部活動地域移行に係る取組協議 指導者の確保について 運営主体の在り方について 現在の取組の方向性について 来年度の方向性について 中体連主催大会への参加様態について (3) 地域スポーツクラブ活動の体制整備について「参照」 「2. 地域スポーツクラブ活動の体制整備について」参照 ■市内全中学校及び中等教育学校を訪問し、校長先生と地域性や学校部活動の状況について意見交換をしたことで、拠点校部活動や地域クラブ活動への移行を見据えた合同部活動を選定し実証的な活動を行うことができた。 ■学校間連携として合同部活動を推進し、地域クラブ活動へと展開していく方向性が定まったことで、部活動地域移行検討委員会において委員の方々と活発な協議を行うことができた。 ■学校は部活動を廃部にすることが困難なため、合同部活動を拠点校部活動に移行していく。 ■教員の負担軽減 ■地域の指導者の確保 ■今後の費用負担の在り方 ■中体連主催大会の参加様態
主な成果	■学校と地域クラブ活動を繋げる担当者(コーディネーター)が必要である。 ■学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を推進するためには、スポーツ振興課等の市長部局、スポーツ協会や競技団体、総合型地域スポーツクラブ、大学等の関係団体との連携が不可欠である。 ■今年度実施した合同部活動は継続。新たに合同部活動を拡充する。 ■合同部活動を単位とするクラブとして、中体連主催大会への登録及び参加について検討を進める。
主な課題	■学校と地域クラブ活動を繋げる担当者(コーディネーター)が必要である。 ■学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を推進するためには、スポーツ振興課等の市長部局、スポーツ協会や競技団体、総合型地域スポーツクラブ、大学等の関係団体との連携が不可欠である。
令和7年度以降の方向性	■今年度実施した合同部活動は継続。新たに合同部活動を拡充する。 ■合同部活動を単位とするクラブとして、中体連主催大会への登録及び参加について検討を進める。

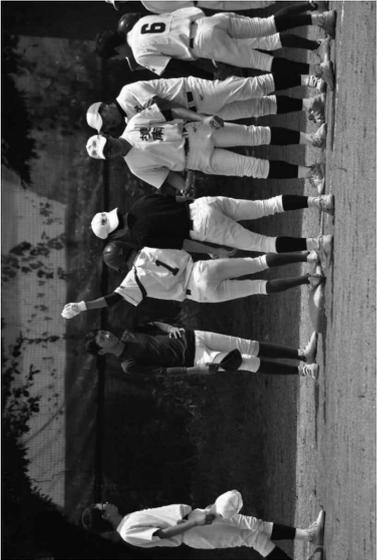
2. 地域スポーツクラブ活動の体制整備について

運営団体・実施主体及び活動の概要	① 軟式野球クラブ 実施：毎週土曜日 9:00～12:00 対象：境北・境西・境南・境南中学校 内容：軟式野球 ② 境サッカークラブ 実施：毎週土曜日 9:00～12:00 対象：境北・境西・境南中学校 内容：サッカー ③ 境バスケットボールクラブ 実施：月1回土曜日 9:00～12:00 対象：境北・境南中学校 内容：バスケットボール ④ 中部サッカークラブ 実施：毎週土曜日 9:00～12:00 対象：第一・第二中学校 内容：サッカー ⑤ 北部ソフトボールクラブ 実施：毎週土曜日 9:00～12:00 対象：第三・第四中学校 内容：ソフトボール ⑥ 南部柔道クラブ 実施：毎週土曜日 9:00～12:00 対象：第二・第四中学校 内容：柔道
対象参加者	① 伊勢崎市立境北中学校、伊勢崎市立境西中学校、伊勢崎市立境南中学校 ② 伊勢崎市立境北中学校、伊勢崎市立境西中学校、伊勢崎市立境南中学校 ③ 伊勢崎市立第一中学校、伊勢崎市立第二中学校 ④ 伊勢崎市立第三中学校、伊勢崎市立第四中学校 ⑤ 伊勢崎市立第二中学校、伊勢崎市立第四中学校 ■ 学校を通じ、指導者から申請書と報告書を提出してもらい、指導者に対する謝金の支払いを行った。 ■ 学校に生徒と指導者の名簿を提出してもらい、教育委員会がスポーツ安全保険の加入手続き及び保険料の支払いを行った。 ■ 地域スポーツクラブ活動に参加している生徒に、受益者負担としてスポーツ安全保険料の一部を市に納入してもらうため、「伊勢崎市部活動地域移行モデル事業実施要領」を制定し、学校を通じ、参加費を徴収した。
運営団体・実施主体との連携及び体制整備の概要	■ 境地区の3中学校の教員を対象に、部活動地域移行に関する説明会をオンラインで実施。部活動地域移行の考え方や方向性、合同部活動の取組を通して、地域移行に向けて段階的に進めていくことについて説明した。 ■ 本市の部活動地域移行の目指す方向性や現在の取組を周知するため、リリースレットを配布した。 ■ 地域スポーツクラブ体制整備事業の円滑な実施のため、部活動地域移行担当指導主事とコーディネーターが中学校を訪問し、学校長と情報交換を行った。
運営団体・実施主体、指導者、学校等への支援	■ 学校との連携を密にし、地域の実情や学校の状況に応じた地域スポーツクラブ活動の在り方の検討 ■ 地域の指導者の確保 ■ 生徒や保護者の理解 ■ 地域スポーツクラブ活動を運営に係る財源の確保 ■ 地域スポーツクラブ活動の中体連主催大会の参加条件の緩和

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
 実施報告書

地域スポーツクラブ 【境軟式野球クラブ】

運営団体・実施主体・指導者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 境軟式野球クラブ 指導者 6 名（教員 5 名、地域指導者 1 名）
対象参加者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊勢崎市立立境北中学校 8 名 ■ 伊勢崎市立立境西中学校 7 名 ■ 伊勢崎市立立境南中学校 9 名
活動の概要及び活動の様子	<p><実施日・時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週土曜日 8 時から 1 2 時 <p><実施場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各中学校校庭 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 送球・打撃・走塁等の技術指導 ■ 練習試合の運営方法（連係プレー等） ■ 準備・片付けの方法等の定着 <p><会費></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一人 1 0 0 円（保険料の一部として） <p><保険></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ安全保険に加入 <p><活動の様子></p>
活動の様子	

	市町村担当部署や学校、地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会の担当指導主事と伊勢崎市部活動地域移行コーディネーターが各中学校を訪問し、学校長と地域性や学校の状況を踏まえた合同部活動、拠点校部活動の実施、地域クラブへの移行の在り方について意見交換を行った。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業活用上の留意点等について説明を行った。 ■ 学校から指導者と生徒の名簿を提出してもらい、市教育委員会の担当がスポーツ安全保険の加入手続きを行った。 ■ 人数が増えたことで、活動が充実した。 ■ 合同チームとして大会に参加し、練習の成果を発揮することができた。 ■ 指導者が増えたことで指導を分担できるため、ある程度教員の負担感を減らすことができた。
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教員の負担軽減のため、地域の指導者を確保していく必要がある。 ■ 大会参加に関して、合同部活動だと部員数の増減により組み合わせが変わってしまう、継続的な活動に繋がらない可能性がある。 ■ 練習時の移動（保護者の送迎負担、自転車での移動での安全面） 	
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会と学校が連携を取りながら、合同部活動の拡充や拠点校部部活動や地域クラブ活動への移行を進めていく。 ■ 地域クラブ活動を応募してくれる地域人材を確保していく。（技術指導や運営を手伝ってくれる人） ■ 市が設置する地域クラブが、中体連主催大会に地区大会から参加できるよう、参加条件を緩和していく。 ■ 今後、地域クラブ活動に係る費用の一部負担について、保護者の理解を得られるようにしていく。 	
地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の取組を継続していく。 ■ 地域の指導者を発掘していく。 	
令和7年度以降の方向性		

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
 実施報告書

地域スポーツクラブ 【境サッカークラブ】

運営団体・実施主体・指導者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 境サッカークラブ 指導者 5名 (教員 5名)
対象参加者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊勢崎市立境北中学校 10名 ■ 伊勢崎市立境西中学校 8名 ■ 伊勢崎市立境南中学校 12名
活動の概要及び活動の様子	<p><実施日・時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週土曜日 8時から12時 <p><実施場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各中学校校庭 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎・基本の技術練習 ■ 練習試合 <p><会費></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一人100円 (保険料の一部として) <p><保険></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ安全保険に加入 <p><活動の様子></p>
活動の様子	

	市町村担当部署や学校、地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会の担当指導主事と伊勢崎市部活動地域移行コーディネーターが各中学校を訪問し、学校長と地域性や学校の状況を踏まえた合同部活動、拠点校部活動の実施、地域クラブへの移行の在り方について意見交換を行った。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業活用上の留意点等について説明を行った。 ■ 学校から指導者と生徒の名簿を提出してもらい、市教育委員会の担当がスポーツ安全保険の加入手続きを行った。
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適正な人数で定期的に練習を行うことができ、生徒の意欲が向上した。 ■ 合同チームとして大会に参加し、練習の成果を発揮することができた。 ■ 指導者が増えたことで指導を分担できるため、ある程度教員の負担感を減らすことができた。 	
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教員の負担軽減のため、地域の指導者を確保していく必要がある。 ■ 練習時の移動 (保護者の送迎)による負担、自転車での移動の(安全面) ■ 大会参加に関して、合同部活動だと部員数の増減により組み合わせが変わってしまう、継続的な活動に繋がらない可能性がある。 	
地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会と学校が連携を取りながら、合同部活動の拡充や拠点校部活動や地域クラブ活動への移行を進めていく。 ■ 地域クラブ活動を応募してくれる地域人材を確保していく。(技術指導や運営を手伝ってくれる人) ■ 市が設置する地域クラブが、中体連主催大会に地区大会から参加できるよう、参加条件を緩和していく。 ■ 今後、地域クラブ活動に係る費用の一部負担について、保護者の理解を得られるようにしていく。 	
令和7年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の取組を継続していくとともに、拠点校部活動への移行や地域クラブとして大会に参加することについて検討していく。 ■ 地域の指導者を発掘していく。 	

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
 実施報告書

地域スポーツクラブ 【境バスケットボールクラブ】

運営団体・実施主体・指導者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 境バスケットボールクラブ 指導者 5名 (教員 5名) ■ 伊勢崎市立境北中学校 19名 ■ 伊勢崎市立境南中学校 28名
対象参加者	<p><実施日・時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 月1回土曜日 8時から12時 <p><実施場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各中学体育館 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎練習、対人練習 ■ 練習試合 <p><会費></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一人100円 (保険料の一部として) <p><保険></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ安全保険に加入 <p><活動の様子></p>
活動の概要及び活動の様子	

	市町村担当部署や学校、地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会の担当指導主事と伊勢崎市部活動地域移行コーディネーターが各中学校を訪問し、学校長と地域性や学校の状況を踏まえた合同部活動、拠点校部活動の実施、地域クラブへの移行の在り方について意見交換を行った。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業活用上の留意点等について説明を行った。 ■ 学校から指導者と生徒の名簿を提出してもらい、市教育委員会の担当がスポーツ安全保険の加入手続きを行った。 ■ 定期的に合同練習を実施することにより、生徒がお互いに良い刺激を受け、意欲の向上に繋がった。 ■ 指導者が増えたことで指導を分担できるため、ある程度教員の負担感を減少することができた。
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教員の負担軽減のため、地域の指導者を確保していく必要がある。 ■ 練習時の移動 (保護者の送迎による負担、自転車での移動の安全面) 	
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会と学校が連携を取りながら、合同部活動の拡充や拠点校部活動や地域クラブ活動への移行を進めていく。 ■ 地域クラブ活動を応募してくれる地域人材を確保していく。(技術指導や運営を手伝ってくれる人) ■ 市が設置する地域クラブが、中体連主催大会に地区大会から参加できるよう、参加条件を緩和していく。 ■ 今後、地域クラブ活動に係る費用の一部負担について、保護者の理解を得られるようにしていく。 	
令和7年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の取組を継続していくとともに、地域の指導者を発掘していく。 	

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
 実施報告書

地域スポーツクラブ 【中部サッカークラブ】

運営団体・実施主体・指導者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中部サッカークラブ 指導者 4名 (教員 4名)
対象参加者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊勢崎市立第一中学校 15名 ■ 伊勢崎市立第二中学校 14名
活動の概要及び活動の様子	<p><実施日・時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週土曜日 8時から12時 <p><実施場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各中学校校庭 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ サッカーに関する技術・戦術指導 ■ 練習試合 <p><会費></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一人100円 (保険料の一部として) <p><保険></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ安全保険に加入<会費> <p><活動の様子></p>
	

	
市町村担当部署や学校、地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会の担当指導主事と伊勢崎市部活動地域移行コーディネーターが各中学校を訪問し、学校長と地域性や学校の状況を踏まえた合同部活動、拠点校部活動の実施、地域クラブへの移行の在り方について意見交換を行った。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業活用上の留意点等について説明を行った。 ■ 学校から指導者と生徒の名簿を提出してもらい、市教育委員会の担当がスポーツ安全保険の加入手続きを行った。
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適正な人数で定期的に練習を行うことができ、活動が充実した。 ■ 生徒がお互いに良い刺激を受け、意欲の向上に繋がった。 ■ 指導者が増えたことで指導を分担できるため、ある程度教員の負担軽減に繋がった。
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教員の負担軽減のため、地域の指導者を確保していく必要がある。 ■ 大会参加に関して、合同部活動だと部員数の増減により組み合わせが変わってしまう、継続的な活動に繋がらない可能性がある。 ■ 練習時の移動 (保護者の送迎による負担、自転車での移動の安全面)
地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会と学校が連携を取りながら、合同部活動の拡充や拠点校部活動や地域クラブ活動への移行を進めていく。 ■ 地域クラブ活動を応募してくれる地域人材を確保していく。(技術指導や運営を手伝ってくれる人) ■ 市が設置する地域クラブが、中体連主催大会に地区大会から参加できるよう、参加条件を緩和していく。 ■ 今後、地域クラブ活動に係る費用の一部負担について、保護者の理解を得られるようにしていく。
令和7年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の取組を継続していくとともに、拠点校部活動への移行や地域クラブとして大会に参加することについて検討していく。 ■ 地域の指導者を発掘していく。

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
実施報告書

地域スポーツクラブ 【北部ソフトボールクラブ】

運営団体・実施主体・指導者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北部ソフトボールクラブ 指導者8名（教員5名、地域の指導者3名）
対象参加者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊勢崎市立第三中学校 4名 ■ 伊勢崎市立第四中学校 8名
活動の概要及び活動の様子	<p><実施日・時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週土曜日 8時から12時 <p><実施場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各中学校校庭 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 守備・バッティング、走塁等の技術練習 ■ 試合を想定した連係プレーの練習 ■ 練習試合 <p><会費></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一人100円（保険料の一部として） <p><保険></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ安全保険に加入 <p><活動の様子></p>
	

	
市町村担当部署や学校、地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会の担当指導主事と伊勢崎市部活動地域移行コーディネーターが各中学校を訪問し、学校長と地域性や学校の状況を踏まえた合同部活動、拠点校部活動の実施、地域クラブへの移行の在り方について意見交換を行った。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業活用上の留意点等について説明を行った。 ■ 学校から指導者と生徒の名簿を提出してもらい、市教育委員会の担当がスポーツ安全保険の加入手続きを行った。
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域指導者による専門的な指導と人数が増えたことで、活動が充実した。 ■ 合同チームとして大会に参加し、練習の成果を発揮することができた。 ■ 地域の指導者が指導に当たっているため、教員の負担軽減に繋がった。
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大会参加に関して、合同部活動だと部員数の増減により組み合わせが変わってしまう、継続的な活動に繋がらない可能性がある。 ■ 練習時の移動（保護者の送迎による負担、自転車での移動の安全面）
地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会と学校が連携を取りながら、合同部活動の拡充や拠点校部活動や地域クラブ活動への移行を進めていく。（技術指導や運営を手伝ってくれる人） ■ 市が設置する地域クラブが、中体連主催大会に地区大会から参加できるよう、参加条件を緩和していく。 ■ 今後、地域クラブ活動に係る費用の一部負担について、保護者の理解を得られるようにしていく。
令和7年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の取組を継続していくとともに、拠点校部活動への移行や地域クラブとして大会に参加することについて検討していく。

令和6年度 群馬県地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業
 実施報告書

地域スポーツクラブ 【南部柔道クラブ】

運営団体・実施主体・指導者の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 南部柔道クラブ 指導者3名（教員3名）
対象参加者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊勢崎市立第二中学校 6名 ■ 伊勢崎市立第四中学校 9名
活動の概要及び活動の様子	<p><実施日・時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎週土曜日 8時から12時 <p><実施場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 第四中学校武道館 <p><実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 柔道における基礎・基本、技術指導 <p><会費></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一人100円（保険料の一部として） <p><保険></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ安全保険に加入 <p><活動の様子></p> 

	
市町村担当部署や学校、地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会の担当指導主事と伊勢崎市部活動地域移行コーディネーターが各中学校を訪問し、学校長と地域性や学校の状況を踏まえた合同部活動、拠点校部活動の実施、地域クラブへの移行の在り方について意見交換を行った。また、地域スポーツクラブ活動体制整備事業活用上の留意点等について説明を行った。 ■ 学校から指導者と生徒の名簿を提出してもらい、市教育委員会の担当がスポーツ安全保険の加入手続きを行った。
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校間の距離が近いこともあり、平日も含めて合同練習を行うなど活動が充実した。 ■ 合同練習により、生徒がお互いに良い刺激を受け、意欲の向上に繋がった。
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教員の負担軽減のため、地域の指導者を確保していく必要がある。 ■ 学校として部活動を廃部にすることが難しく、合同部活動から拠点校部活動への移行が進まない。
地域スポーツクラブ活動への移行を進める上でのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市教育委員会と学校が連携を取りながら、合同部活動の拡充や拠点校部活動や地域クラブ活動への移行を進めていく。（技術指導や運営を手伝ってくれる人） ■ 地域クラブ活動を応援してくれる地域人材を確保していく。 ■ 市が設置する地域クラブが、中体連主催大会に地区大会から参加できるよう、参加条件を緩和していく。 ■ 今後、地域クラブ活動に係る費用の一部負担について、保護者の理解を得られるようにしていく。
令和7年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の取組を継続していくとともに、拠点校部活動への移行や地域クラブとして大会に参加することについて検討していく。